



宇久中だより2018

佐世保市立宇久中学校 学校通信
(平成30年12月2号)
文責 校長 田雑 健
平成30年12月14日(金)発行

学校教育目標 : ふるさとを愛し、主体的に学習し、自らの判断で正しく行動できる生徒
めざす生徒像 : 素直で心豊かな生徒・自ら考え、主体的に学ぶ生徒・強くたくましい生徒
宇久中生徒の5励行 : 心のこもったあいさつをする 授業に集中する 生徒会活動や部活動に励む
大きな声で校歌を歌う 清掃活動に力を入れる

「なりたい自分になる」

長崎新聞社記者の嘉村 友里恵 さんを講師に迎え、11日(火)にキャリア教育講演会を開催しました。「なりたい自分になる ～自己実現を目指すために、どのように生きるか～」との演題でお話しいただきました。

会の最初に紹介したように、嘉村さんは、宇久島に係わる記事を多く書いておられ、学校からも情報提供をすることがあったので、その縁を最大限に活用して、講師をお願いしました。

自己紹介にはじまり、勤務しておられる長崎新聞社の説明、そしてなぜ記者の道を選んだのか、記者としての5年間でどんな仕事をし、どんな厳しいこと、うれしいことがあったのかなど資料を用いながら熱心にお話しいただきました。

私(田雑)が印象に残ったのは、「振り返ると、今の仕事につながっている経験がたくさんあった」という部分です。その時その時でやってきたこと、興味をもったこと、悩んだこと、そのどれもが後になって考えてみれば、自分の糧になっている。私はそう受け取りました。

最後の「宇久中の皆さんに伝えたいこと」が時間の都合で駆け足になりましたが、皆さんへの3つのことば、そして大人である先生方や保護者の方々へのことば、どれも大切にしなければいけないと思うことばかりでした。

今回のお話しを参考にして、将来の自分を想像してみる、そんな時間をぜひ取ってほしいものです。

新生徒会へ

13日(木)に演説会、投票が行われ、本校を担う次期会長が決定しました。これに伴い会長を支える新役員も今後決定していくことになると思います。本校生徒全員が会員となり組織されている生徒会です。会長はじめ新役員を軸に、先輩からのバトンをしっかり受け継ぎ、さらに宇久中を盛り立ててくれることを期待しています。

引き続き注意しましょう

佐世保市内の学校からもインフルエンザ発生の知らせが入るようになってきました。繰り返えしになりますが、以下の点に気をつけましょう。

- 1 予防接種を受けているといっても油断しないこと。もちろん、「自分がかからない」と変な自信をもたないこと。
- 2 「うがい、手洗い」を実践すること。
- 3 「早寝、早起き、朝ご飯」の基本的な生活リズムを守り、体力の維持・向上に努めること。



まずは予防に努め、もしかかったかな?と思ったら、すぐ受診して治療しましょう。無理は禁物です。まずは健康第一!

10月～12月の指針

文化の香り —不易と流行—

○市音楽発表会、宇久文化祭、なぎなた踊り など

『美しい宇久島へ』
新しい宇久町観光協会の袋にも
本校生徒の作品が！

宇久町観光協会がお作りになっている手提げ袋（大・小）が新しくなりました。

前回の袋のデザインも本校生徒作品によるものですが、今回も全て本校生徒作品で構成していただきました。宇久島のすばらしさが伝わる作品集といった感じに仕上がっています。

下の写真は撮影者（田雑）の腕前がいまひとつだったので、その素晴らしさを十分にはお伝えできていません。観光協会ぜひ実物を！



左が3年田中穂乃花さん、右が同じく3年狭間富稀さんの作品です。



生徒玄関にも実物を掲示していますので、来校された折にご覧ください。

左が2年鈴木遥萌さん、右が同じく2年山口紗季さんの作品。

ココロねっこ10

学校・PTA行事や地域行事に、
すすんで参加しましょう。

子どもたちは、生活体験、自然体験、社会体験等の直接体験を重ねることによって、コミュニケーション能力や協調・協力の態度などの人との関わり方を学び、郷土や他者への思いや、生きる智恵を育み身に付けていきます。

しかし現代の子どもはこのような体験が不足していることが指摘されており、子どもの問題行動等の背景にあるとも言われています。また、子どもたちが日常的に群れ遊びや直接体験の機会を持つことが難しくなっている現状があります。

●親が育つ、子も育つ

このような子どもたちの成育環境において、親自らが学校・PTA行事や地域行事に参加したり、親子で参加することは、身近な直接体験の機会となりますし、親が周囲の人たちと協力する姿は子どもにとって生きた教科書です。

社会の中で他者と協力しながら生きていく力を身に付けることは、子どもの自立のためには欠かせません。

身近な学校・PTA、地域の行事に積極的に参加してみましょう。親同士も新鮮な出会いや楽しさの発見があり、親育ちの貴重な機会となることでしょう。

出典：「ココロねっこ運動」長崎県青少年育成県民会議より



11日の学校開放日には、お忙しい中、また寒さ厳しい中にご来校いただきありがとうございます。学校評価アンケートについてもご協力ありがとうございました。